



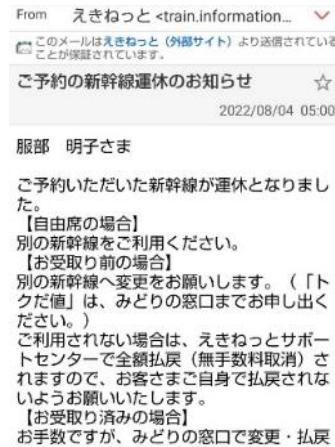
2022年8月4日(木)~6日(土)

鳥海山(2236m)・月山(1984m)

2泊3日で山形の名峰(鳥海山と月山)を制覇する計画です。鳥海山は出羽(秋田)富士と呼ばれ、月山は山形県中央にそびえる信仰の山です。魅力は、日本海からの雪に育まれた雪渓(鳥海山の心字雪など)と、見事な雪田植物(ハクサンイチゲやチングルマ等)にあります。(企画:根岸)参加者は、根岸さん・吉松さん・服部さん・中島の4人です。

＜初日＞ 東京～山形～羽黒山～鳥海山荘

Report by 中島



前日の8/3は新潟・山形地区に線状降水帯が発生していた。8/4の夜中には関東でもカミナリがなつていて激しい雨になっていました。「東京までたどり着くかな」と心配で早めに起きて身支度をしていたところ、、、

5:55 服部さんから「ご予約いただいた新幹線は運休となりました」とえきねっとからメールが来たとLINEで連絡があった。HPで確認すると、確かに、東京～山形間で運休となっている。リーダー根岸さんと吉松さんからは何も連絡がない。メール・LINEをしても返事・既読にならない。どうする? えきねっとで検索していると、東京8:20の仙台行きの新幹線は運行している。座席数はあと僅か。中島と服部さんは「はやぶさ7号」に変更した。7:46 東京駅で中島と吉松さんが合流。吉松さんは新幹線が運休と知り、家に今回は中止かもと連絡を入れていたそうだ。根岸さんはいなく、電話をしても出ない。

駅員さんに状況を聞くと「やまびこ127号」は東京～仙台は運行していて1～4号車は自由席なのでそのままのチケットで乗れると言う。根岸さんと連絡がとれないま 8:08 の出発が近づいた時、8:01 根岸さんから「私は仙台に向かいます」とLINE。吉松さんは慌てて「やまびこ127号」の自由席に乗り込んでもらった。そこで根岸さんと合流。中島と服部さんは「はやぶさ7号」に乗り、仙台で合流する事になった。

根岸さんと吉松さんは10:11に仙台到着予定。中島と服部さんは9:50に仙台駅到着。9:50 新幹線車内放送「地震が発生しました」根岸さんと吉松さんが乗っている「やまびこ127号」は福島付近で急停車。電気が消え真っ暗になった。しばらくすると送電が再開されたが停車したまま。30分後に運転再開されました。※この時は逐一LINEで報告もらいました。11:12に根岸さんと吉松さん仙台駅に到着。4人が合流でき、11:18 仙山線仙台～山形に乗り込むことができました。12:34 山形駅に定刻通りに到着です。仙山線電車内で車掌さんが、東京～山形のチケットは仙台～山形の特急券の払い戻しがあると言う。山形駅に着いて、仙台～山形の特急券の払い戻し600円をしてもらった。中島と服部さんは「元々は東京～山形を購入していて運休だから変更したのだ。仙台～山形の運賃をなしにしてくれ」と交渉。新幹線なら「東京～山形 11,650円」「東京～仙台 11,610円」とほぼ変わらないのだ。交渉成立で1,170円の運賃をなしにしてもらいました。朝からドタバタでしたが無事に山形駅に着いてよかったです。

11:18 仙山線 仙台駅出発 ~ 山形駅着は12:34です。



12:20 仙山線 山寺駅

3人は何を見てるの??



山寺：松尾芭蕉の俳句で有名な東北を代表する
山形県にある霊山です。
山寺というのは通称で、
「宝珠山立石寺」といいます。

こちらがホームから見れるので、
覗き込んでいました（笑）



12:34 山形駅に到着

山形花笠まつりが3年ぶりの開催。
8/5~7までの日程で行われます。

山形駅には花笠や提灯が展示されていました。



12:50 トヨタレンタカー 車種は SIENTA

根岸さんはご自宅で乗っている車種で、
勝手がわかってよかったです。

7人乗りで、3シートの一番後ろの席はたたみ、
4人で広々でした。

13:15 お昼 肉そば処 立花 南支店
山形名物といえば、芋煮そばや冷やしラーメンなど。



「冷たい肉そば」は、河北町で有名だそうです。



肉そばにげそ天をトッピング スープは鶏ガラ。



げそ天ぷらそば(冷) スープはカツオ節ベース。



14:00

お昼の後は「羽黒山」を1時間かけて観光する予定でしたが、朝のドタバタ劇から予定より1時間半遅れている。でも、せっかくなので、羽黒山の五重塔だけでも見てみたい。とのことで、羽黒山へ向かうことにしました。

15:40 羽黒山に到着。

羽黒山（はぐろさん）とは、山形県鶴岡市に位置する標高 414m の山です。

月山（がっさん）、湯殿山（ゆどのさん）とともに山岳信仰の場として知られ、これら 3 つの山は「出羽三山（でわさんざん）」と総称されています。その歴史は深く、開山は約 1400 年前といわれています。

出羽三山にはそれぞれ山頂に神社があり、昔から「西の伊勢参り、東の奥参り（伊勢神宮を参拝したら、東の奥＝出羽三山も参拝するということ）」と呼ばれるほど多くの参拝者を集めています。

「羽黒山＝現在」「月山＝過去」「湯殿山＝未来」に見立てられ、三山をめぐることは現世の幸せを祈りながら、新しい魂として生まれ変わる旅といわれ、江戸時代に庶民の間に広まりました。（以下、ネットより抜粋）



随神門

参詣道の入口・随神門は、邪惡なものが侵入するのを防ぐ役割を持ち、御門の神様を祀っています。この随神門を超えると、出羽三山の「神域」となるため、より厳かな雰囲気に。神域は遠く月山を越え、湯殿山まで広がっています。



祓川神橋／須賀の滝

随神門から継子坂（ままこざか）を下ると、祓川神橋（はらいがわ しんきょう）が見えてきます。美しい朱塗りが印象的なこの橋は、2021 年 5 月に改修が終ったばかり。昔の参拝者は、この場所に流れる祓川で身を清めた後、三山への参拝をはじめたといわれています。



爺杉（じじすぎ）

祓川神橋からさらに石段を登ること数分、立ち並ぶ杉の中でも特に大きく目立つ「爺杉」を発見。

樹齢 1000 年以上の老杉で、目通り幹囲 8.2m、樹高は 48m を越える羽黒山内一の巨木です。

国の天然記念物にも指定されています。

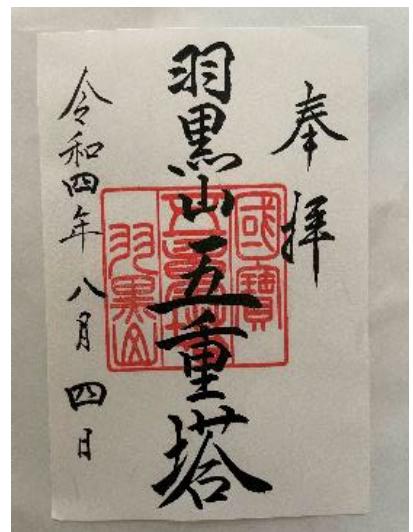


五重塔

爺杉のすぐ近くに立つ五重塔

平将門創建といわれ、東北地方で唯一の「国宝の五重塔」です。何も塗られていない素木造り（しらきづくり）で、屋根は木の薄板を幾重にも重ねて施工する柿葺（こけらぶき）という手法で造られています。杉小立の間に佇む高さ 29m、三間五層の優美な姿です。

2023 年～2025 年春頃まで屋根修理工事が行われるそうです。この期間は足場や幕が張られるので五重塔をみることができない。その前でよかったです～。



16:00 羽黒山を出発 羽黒山付近でお酒を調達しようと酒屋を探す。

1軒発見したが、探していた「初孫」がなかった。「羽黒山」という純米大吟醸があり、中島はお土産に購入することにした。と、お店に来ていた方が「桃」を1個くれました。箱に1個入らなかったから食べて～でした（笑）「桃」は月山宿の朝食時にお宿でむいてもらい、4人で美味しく頂きました。



羽黒山から本日のお宿「湯の台温泉鳥海山荘」に向かう。

途中、最上川の付近を通るが、川は氾濫寸前でした。



17:20

湯の台温泉鳥海山荘に到着

山小屋風なとてもオシャレな建物でした。



夕食は 18:45～ 温泉・明日の準備など、それぞれ過ごしました。

そんな中、吉松さんが温泉からでてきても根岸さんがいない、と言う。

明日の鳥海山、湯の台口登山口のナビを設定しようとしていたら場所がでてこなく、心配で車で下見に行ったそうだ。 Google ナビでみると片道 25 分、往復 50 分。。 大変お疲れ様でした。

18:45 夕食 すき焼き・天ぷらととても豪華です。

中でも、1人前づつかまで炊いたお米「つや姫」がとても美味しかったです。完食です！

お勧めの日本酒は、鳥海山ゆかりの麓井酒造の「麓井の圓（ふもといのみどか）3000円」でした。



明日は湯の台口コースを登る。4:30に出発。コース検討に余念のない吉松さん。早めに就寝となった。

